



## 高畑 勝行

### 勤務先:

大開技術コンサルタント(株)  
技術開発部  
〒089-0533 中川郡幕別町  
札内新北町 197 番地 71

TEL 0155-56-2936

FAX 0155-56-3312

E-mail: k.takahata@smile.ocn.ne.jp

専門: 建設部門

### 1. 自己紹介

皆様、はじめまして。この度は縁あって数多くの優秀な技術士、技術士補合格者のいる中投稿させていただくことになり、大変光栄に思っております。

私は1975年(昭和50年)帯広市で生まれ、大学時代を埼玉県浦和市で過ごし、その後札幌にて2年間の大学院生活を送りました。大学の講座は河川でしたが、大学院では一転、地盤物性学を学びました。

大学院修了後は、札幌のコンサルタントに2年間お世話になり、優秀な技術者に囲まれ緊張感のある有意義な日々を送らせていただき、その後、現在の会社に入社いたしました。現在の会社ですが、実は父の経営する会社であり、少しでも戦力になればと思いきや、意気揚々とやって来たわけですが、特に始めの一年は自分の力の無さを痛感し焦りもがく日々でした。そんな中、今回当面の目標であった、技術士第一次試験に無事合格することとなったわけです。

### 2. 中国に見る公共事業

突然中国の話題で不自然に感じる方もおられるでしょうが、現在猛烈な高度経済成長を続けるこの国の話題は実に興味深いものではないでしょうか。

実は私、今年のGWに中国に行つてまいりました。皆様は中国にどのようなイメージを抱かれていますでしょうか? 私のイメージは『社会主義国、多い人口、広い国土』といったものでした。実際、中国の人口は2004年現在、何と13億人を突破し当然世界第1位、国土面積は960万平方キロメートルで、

日本の26倍もあります。又、何と云っても中国は今高度経済成長の真っ只中であり、2003年のGDP成長率は9.1%、財政支出に占める経済建設費の割合は約1/3であり空前の建設ラッシュと云っていいでしょう。私が今回旅行した首都北京も、2008年オリンピック開催に向け急ピッチで社会資本整備を進めておりました。

では、公共事業に限定して中国を見たとき日本との違いは何かと私なりに考えてみました。大きな違いは以下の2点ではないでしょうか。

- ① 用地買収の必要が無い
- ② 施工は基本的に人力施工

中国の土地はすべて国有か、もしくは集団(村など)所有です。したがって、例えば都市中心部に高速道路を計画し建設することも日本ほど困難ではありません。日本のように用地買収の必要が無いため、国家の決定であれば速やかに住民を移住させそこに道路等を建設する事が出来るのです。従って最も経済的かつ便益のある社会資本整備が可能となります。ところが、いざ施工となると大半が人力施工なのだそうです。安価な労働力が大量に確保でき、建設機械がまだまだ普及していないせいでしょう。

また、道路をバスで走行すると、特に橋梁部など大きな段差があり、技術的に日本よりきめが粗いという印象を受けました。

要するに、建設着工に至るまではスムーズでかつ最良の計画を立てることが出来ますが、設計・施工能力については今後まだ改善の余地があるというのが今回の旅行で感じた私の率直な印象です。

### 3. 今後にむけて

現在日本の公共事業は減少の一途をたどっております。しかしながらお隣の国である中国を始めとする諸外国を見れば、まだまだ社会資本整備が不十分であり、今後も引続き高い土木技術能力が必要とされるでしょう。諸先輩方の中には既にそういった国々に目を向けておられる方も数多くいる事と思いますが、私も世界有数の土木技術力をもつ我が国の技術者として恥じない技術力を身に付けて行きたいと考えております。